

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 57 2016.7.10

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

第4回チベットセミナー／第22回年次大会を開催

能海寛研究会主催の「第4回チベットセミナー」を7月9日午後1時30分より、金城町波佐・ときわ会館において開催し、能海寛の入門講座として隅田事務局長が、「能海寛の新仏教徒運動」(国内編)を岡崎会長が「西洋チベット学の祖、チョーマド・ケレスが与えた河口慧海と能海寛への影響」を、それぞれ講師を勤めました。

7月10日午前10時より、「第22回年次大会」をときわ会館で開催しました。年次総会へ来賓に大屋俊弘県議会議員、芦谷英夫浜田市議会議員より来賓祝辞を須山隆県議会議員より祝詞をいただきました。

総会議案6件が原案通り承認されました。特に、平成30年に「能海寛生誕150年」を迎えるにあたり、今年度から記念事業に取り組む事が承認されました。総会后、会員研究発表は、岡本司郎氏が「1985年成都・蘭州路線バスの旅」、植田義法氏が「『四色定理と層を結ぶ』～山の谷間で生まれる論理」を発表いただきました。

昼食を挟んで午後からは、一般公開講座として、由井格氏が「寺本と能海にまつわる資料入手の経過」、岡崎秀紀氏が「A. ダルマパーラの『日記』と『THE BUDDHIST』を調査して」、高本康子氏が「可視と不可視のチベット」と題して、それぞれ3件の会員研究発表が行われました。午後2時から、記念講演として、大谷大学准教授三宅伸一郎氏による『能海寛と寺本婉雅のボン教研究』として、ボン教の歴史と研究課程の講演をいただきました。



↑ 記念講演会の模様と三宅伸一郎氏 →
← チベットセミナーでの講師・岡崎、隅田



発表者の高本、岡崎、由井、三宅、植田、岡本の皆さん

年次大会終了時に講師の三宅先生を囲んで

【次回定例学習会予告】

第129回定例学習会

9月10日(土) 午後1時30分～4時 金城町波佐 ときわ会館

テキスト：能海寛著『世界に於ける仏教徒』第5章 歴史上の仏教